授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅰ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤 優子・早狩　瑶子・鎌田 璃沙	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	N5-3019m				

【授業の主題】

助産診断・技術学の定義、意義を学ぶ。科学的根拠を基づいた情報の分析方法について学習し、正常な経過をたどる妊娠期・産褥期・新生時期の助産診断と助産過程について学ぶ。

【到達目標】

１．助産診断および助産技術の定義と意義、範囲について理解できる
２．科学的根拠に基づいて情報を分析できる
３．正常な経過の妊婦・褥婦・新生児の助産診断ができる
４．正常な経過の妊婦・褥婦・新生児の看護過程を展開できる

【授業計画・内容】

第 1 回	助産診断の定義と意義、妊娠期の助産診断①	(早狩)
第 2 回	妊娠期の助産診断②	(早狩)
第 3 回	妊娠期の助産診断③	(早狩)
第 4 回	新生児期の助産診断	(鎌田)
第 5 回	産褥期の助産診断①	(鎌田)
第 6 回	産褥期の助産診断②	(鎌田)
第 7 回	妊娠期の助産過程①	(工藤)
第 8 回	妊娠期の助産過程②	(工藤)
第 9 回	妊娠期の助産過程③	(工藤)
第 10 回	妊娠期の助産過程④	(工藤)
第 11 回	妊娠期の助産過程⑤	(工藤)
第 12 回	産褥期・新生児期の助産過程①	(工藤)
第 13 回	産褥期・新生児期の助産過程②	(工藤)
第 14 回	産褥期・新生児期の助産過程③	(工藤)
第 15 回	産褥期・新生児期の助産過程④	(工藤)

【授業実施方法】

講義・グループ討議形式

【事前・事後学習】

・母性看護学の復習を充分にしてきてください（毎回 30 分以上)。
・講義内容をふまえ復習を充分にし、理解した上で次の授業に臨んでください（毎回 30 分以上)。

【主な関連する科目】

基礎助産学、女性の健康支援

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座２、３、６、７、８、医学書院

【参考文献】

適宜提示する

【成績評価方法】

工藤担当分：筆記試験 80%、レポート 20%
早狩・鎌田担当分：筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

助産師の実務経験あり
助産師としての実務経験を踏まえ、臨床事例を提示することにより、理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

適宜意見交換をしますので、積極的に参加してください。